

ピーマン

にしき

1966年発表

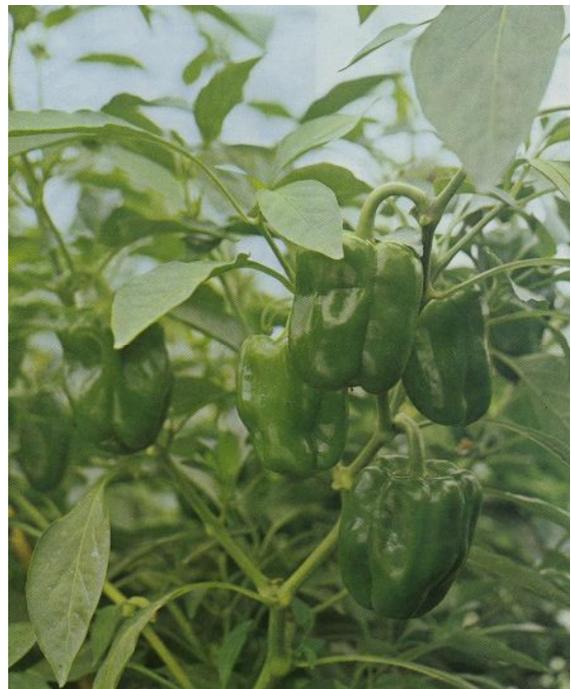
<品種特性>

品種発表当時は、ベル型よりやや果肉が薄く肉質が軟らかい品種が好まれていました。本品種はこの需要に適する品質を持って育成されたF₁品種です。

草勢は強健で、育苗時から発育がよく、着果多く、連続して収穫でき、枝折れに強く、耐暑性があり盛夏期を過ぎても草勢が衰えません。

<栽培の要点>

初期から着果が良い品種ですが、成り疲れしないよう初期から強めの草勢を保ち、側枝の伸びを安定させることです。そのためには若苗の定植や、1~3分枝の花を摘んで初期から草勢を強くして下さい。



公益財団法人園芸植物育種研究所

〒270 - 2221 千葉県松戸市紙敷 2 - 5 - 1

TEL 047-387-3827